

環境に係る情報協議会

国営かんがい排水事業 笹川地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》（鹿追町「田園環境整備マスタープラン」より）

【現状】

大雪山系を源に発するシーシカリベツ川と然別湖を流れてるヤンベツ川が合流して然別川となって、町内を北から南へ縦断し、母なる川として町民に広く親しまれている。

河川及び水辺環境は町民の生活に潤いと安らぎを与えてくれる貴重な空間であり、水環境、河川空間に対する町民の要請は益々高まっている。

【課題】

- ・雄大な自然と調和した施設整備、環境整備
- ・豊かな自然を活用したグリーンツーリズムの推進
- ・農業資源、環境資源を生かした体験型環境づくり

《環境保全の基本的考え方》（鹿追町「田園環境整備マスタープラン」より）

自然との共生を目指した農業農村整備事業等を実施する。

2. 環境配慮方針

《基本方針》

本地区は、北海道十勝平野の北西部に位置し、十勝川支流の然別川左岸に拓けた農業地帯である。地域を北から南へ縦断する然別川は、大雪山系の山並みから注ぐ清流及び大雪山国立公園内の然別湖を源とし、多様な動植物の生息域となっている。

本事業においては、鹿追町の田園環境整備マスタープラン等との整合を図り、生態系や景観との調和に配慮する。

《取組内容》

(1) 生態系への配慮

- ・新設する排水路が樹林帯を横断する区間があることから、伐採範囲を最小限にする。また、工事実施前に希少在来植物の目視調査を行い生育が確認された場合は、工事区域外の生育に適した場所へ移植する。
- ・魚類の生息環境に配慮するため、工事の実施に当たっては、沈殿・ろ過等の濁水処理施設を設置し、濁水流出を防止する。

(2) 景観への配慮

- ・排水法面に自然繊維シートを施工し、現況植生の早期回復を行い、農村景観との調和を図る。